

造形あそびクラス —小さな手は魔法の手—

楽しい造形あそびがいっぱい！



「小さな手は魔法の手」

「造形あそびクラス」の合い言葉は小さな手は魔法の手。

幼児はおよそ3歳ぐらいで「丸」が描けるようになります。表現の最初の一步ですね。

「丸」を指さして子どもたちは、ママ、パパ、リンゴ、ワンワンと想像しながら、夢中になって「絵やもの」を作り始めます。

さらに道具が使えるようになって、小さな手の可能性と世界は広がっていきます。造形あそびのスタート！です。



あそび



あそび、切ったり



付けたり、つなげたり、

やがて、あなたの



は魔法の



小さな手は、自分の力で表現できる「魔法の手」に成長します。

「造形あそびクラス」

「造形あそび」は、感じたこと、思いついたことを自分の手で自分の力で工夫しながら自然素材、絵の具、簡単な道具を使って「形と色」に作り上げていく活動です。

「造形あそびクラス」は、一人ひとりの感じ方や発想を大切に、作ることを思い切り楽しめる「発想の遊び場」です。子どもたちは目を輝かせながら、ステキな宝物を作りだしています。

造形あそび



春・夏・秋・冬



小さな手は魔法の手



— プログラム例 —



ステンシルで木綿のランチョンマット作り(はと)

金づち遊びでおもちゃ作り(はと)



ペットボトルでお船作り(ゆり)

プールに浮かべてみんなで遊んだよ



ノコギリ遊びで電車とプラットホーム作り(はと)

出発進行! みんなで遊んだよ



お魚を切って、削って、焼き板を磨いて(ゆり)

ウェルカムボードが完成



ステンシルで秋の果物とクリスマスオーナメント作り(はと、ゆり)

凧上げ、みんなで遊んだよ(はと、ゆり)